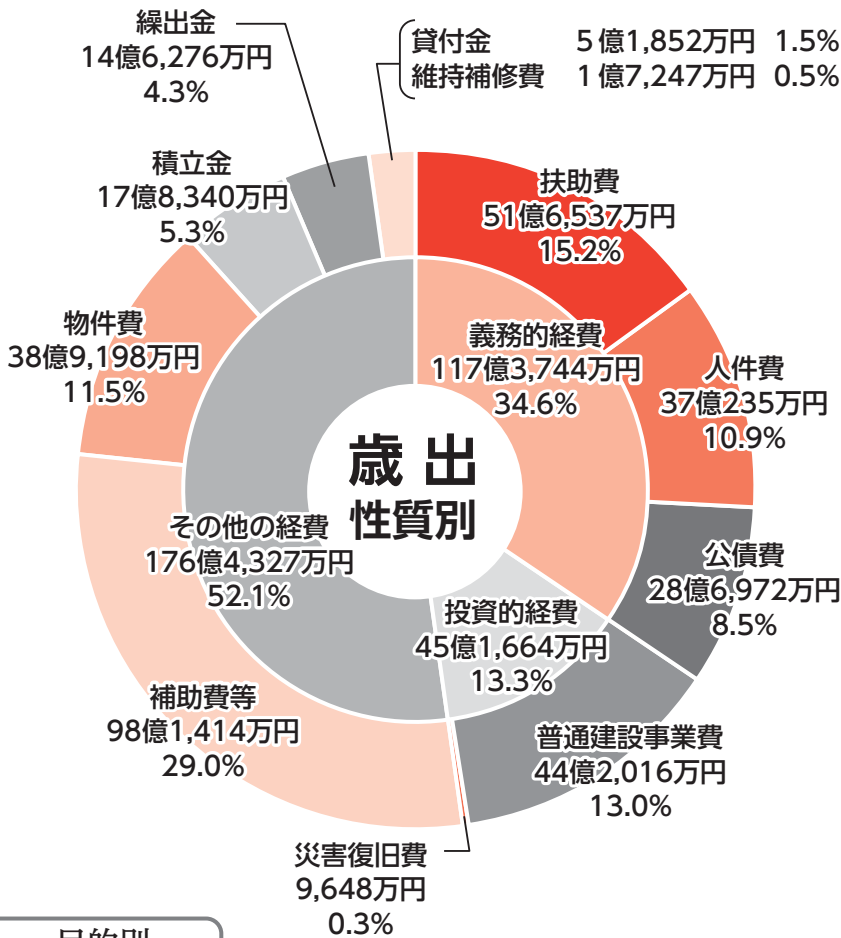


歳出の状況

338億9,735万円

性質別



義務的経費の増加

会計年度任用職員制度の導入による人件費の増や、扶助費や公債費の増により、前年度に比べて7億4,977万円、6.8ポイントの増となりました。

投資的経費の減少

義務教育学校整備事業や国分寺公民館改修事業等が増となる一方、石橋中学校大規模改修事業やふれあい館改修事業等の減により、前年度に比べて7億3,548万円、14.0ポイントの減となりました。

その他の経費の増加

維持補修費が減となる一方、積立金や補助費などの大幅増により、前年度に比べて71億1,280万円、67.5ポイントの増となりました。

目的別

総務費の増加

特別定額給付金給付事業や旧国分寺西小学校利活用事業等の増により、前年度に比べて70億6,248万円、241.1ポイントの増となりました。

教育費の増加

義務教育学校整備事業や小学校および中学校コンピュータ管理事業、国分寺公民館改修事業等の増により、前年度に比べて2億6,988万円、6.3ポイントの増となりました。

商工費の増加

石橋多目的広場整備事業や新型コロナウイルス感染症対策資金借入金利子補給基金積立金、中小企業制度融資促進事業等の増により、前年度に比べて3,429万円、3.7ポイントの増となりました。

土木費の減少

下水道事業会計負担金や市道整備事業等の減により、前年度に比べて1億196万円、3.3ポイントの減となりました。

